教育課程編成委員会
令和４年度第１回委員会 議事録

１．日時および場所

日時：令和 4 年 10 月 22 日(土) 15：00～17：00
場所：修成建設専門学校 129 教室

２．出席者

学外委員
田中義久、小池祐也、佐藤榮一、 小松原学、坂入喜代枝、壺山和憲

学内委員
山下裕貴、堤下隆司、見邨佳朗、谷川博康、増田和浩、辰井菜緒、玉井香里、鍵谷啓太
釜友知與子、 山本順也、野瀬孝男、上杉敬史

以上 18 名

３．配布資料

資料 1-1：令和４年度第１回委員会議事次第
資料 1-2：出欠予定一覧表
資料 1-3：「卒業展 2023」表彰作品審査依頼状

４．議事次第

(1)開会挨拶
堤下校長から開会挨拶に続き、教育課程編成委員会の概要説明があった。

(2)議事内容説明
1)全体会議
①SDGs の取り組み紹介
山下理事長から S ゼミの開催など本校の SDGs の取り組みについて報告が行われた。

②修成教育研究所の取り組み紹介
見邨副校長（同所長を兼務）から修成教育研究所の設立と活動状況について報告が行われた。

2)令和 4 年度全学科課程中間報告
各学科長より令和 4 年度課程中間報告が行われた。

■建築学科（昼）・・・見邨委員
■建築学科（夜）・・・辰井委員
■建築 CG デザイン学科・・・玉井委員
■空間デザイン学科・・・鍵谷委員
■住環境リノベーション学科・・・山本委員
■土木工学科、建設エンジニア学科・・・野瀬委員
■ガーデンデザイン学科・・・堤下委員
■専科 2 級建築士科・・・釜友委員
■専科 1 級建築士科・・・見邨委員

3)学科別討議

◆建築系グループ

田中義久、小池祐也、佐藤榮一、坂入喜代枝
山下裕貴、見邨佳朗、増田和浩、辰井菜緒、玉井香里、鍵谷啓太、釜友知與子、 山本順也

進行：鍵谷啓太

SDGs の取り組み、学び直しリスキリングについて、各委員の専門分野からご意見を頂く。

① SDGs の取り組みについて

・RC だけでなく木材も使用した「木の取り組み」を他社と行っている。
・廃材の削減や環境配慮のためには必要な取り組みではあるが、コストアップや従業員の技術面でも課題が残る。
・BIM を活用することで、木と RC 図面を作図する際に見えない個所も事前に確認することができ、役に立っている。
・学校としても最先端の技術を体験させる機会を設けるよう努めていきたい。

② 学び直しのリスキリングについて

・学校としては今後の需要の高まりを受け止めるが、企業としては人材が流出し、競争力が低下するのではないか。
・グループ会社への社員出向やグループ間交流を図ることで技術の共有を行っている。期間限定の出向というカタチをとることで、会社と従業員のメリットを考えたうえでのことである。あくまで技術の「持ち帰り」が目的である。
・実務者の業界団体としては、現在は、会社間交流やリスキリングといったことは取り入れていないが、今後の課題と認識している。工事のこと、施工のことなどを学ぶ機会をつくり浅く広くどの分野にもつながるようにつなげていきたい。
・AI 化も進み、今後は職の生き残りなど厳しい社会がやってくることが予想される。建築家として生き残れる技術もデジタル以外で必要であり、職が無くならないシステムづくりの構築も必要である。新しいことを始める努力と今までの継続を続け DX 化に向けデジタルだからこそできることを模索していく。

・横の繋がりを積極的に異業種と連携し、互いに危機感を与えながら進んでいく必要がある。

◆土木・ガーデン分野グループ
　小松原学、壺山和憲
　堤下隆司、谷川博康、野瀬孝男、上杉敬史

進行：堤下隆司
SDGs の取り組み、学び直しリスキリングについて、各委員の専門分野からご意見を頂く。

①　SDGs の取り組みについて
・土木現場は自然相手であるから、環境への意識を常に持って業務にあたっている。
・ゼロエミッションを徹底した現場や、自然環境に与える影響を理解し、生態系への影響に配慮を行うなど、公共事業では必須となっている。
・企業からも、教育機関として指導内容に「SDGs」を加えてほしいというリクエストがある。
・質の保証が大切。建設業について、魅力や想い、マインドを伝える。若手の育成、業界人材の確保が急務。
・維持・管理、改修の重要性。今の状態ではなく、今出来ることを施した上で、次の世代へ渡していきたい。

②　学び直しのリスキリングについて
・今まで通りではなく、新しい道を自ら切り拓いていくことが必要となっている。教える側も学ぶ側も意識改革が求められる。
・企業内教育に注力する企業が増えている。企業の研修所で、新入社員だけでなく、協力会社に対しても研修・教育をすすめる。
・土木業界は圧倒的に人材不足。公共事業において、発注者側に技術者がいないなど、知識や経験をもった有資格者が求められている。
・一級土木施工管理技士の資格は必須。会社で費用を負担して、若手にも取得を推奨するなど、資格取得のためのフォローを実施している。

(3) その他
堤下校長から「卒業展 2023」表彰作品審査依頼と学内展示会の連絡があった。
（具体的審査日と選考日時については、資料 1-3 を参照）

(4) 次回開催日時等の決定
①　「卒業展 2023」審査会議
日 時：令和 5 年 2 月 18 日（土）14：15〜14：45

②　令和 4 年度第 2 回教育課程編成委員会

日 時：令和 5 年 2 月 18 日（土）15：00～17：00
場 所：129 教室
内 容：令和 4 年度全学科課程修了報告、その他

以上

（記録・文責：谷川博康　辰井菜緒）